

高知大学テニュアトラック制度成果報告会を開催しました。

平成 27 年 2 月 20 日（金）、高知大学朝倉キャンパスにおいて『高知大学テニュアトラック制度成果報告会』を開催しました。

冒頭に、高知大学脇口宏学長による開会挨拶の後、独立行政法人科学技術振興機構・豊田政男プログラム主管からテニュアトラック制の導入とその効果が紹介されました。



会場の様子（高知大学朝倉キャンパスメディアの森 6 階メディアホール）



開会の挨拶をする脇口宏学長



総合司会の田口博國理事（研究担当）



テニュアトラック制の導入とその効果についてご講演いただいた（独）科学技術振興機構プログラム主管 豊田政男氏



「イノベーティブマリンテクノロジー研究者育成」事業の成果について報告をする若手研究者評価支援機構副機構長 津田正史教授

続いて、高知大学若手研究者評価支援機構副機構長の津田正史教授が「イノベーティブマリンテクノロジー研究者育成について」と題し、本事業の経過および今後の展開について報告した後、文部科学省科学技術・学術政策局人材政策課人材政策推進室和田勝行室長による来賓挨拶が行われ、さらに、「イノベーティブマリンテクノロジー研究者育成」事業の第二期テニュアトラック教員3名による研究発表が行われました。

最後に、高知大学田口博國理事（研究担当）による閉会の挨拶で締めくくり、成果報告会は他大学、各企業及び本学の教職員や学生等各関係者の参加により、盛況裡に開催されました。



来賓としてご挨拶いただいた文部科学省科学技術・学術政策局人材政策課人材政策推進室 和田勝行室長



「薬剤耐性膵臓癌に対する新規治療法の発見 -海洋生物が産生する化合物の新たな薬理活性の探索-」
難波卓司特任助教



「全原子を測定対象とする次世代型 NMR 装置の開発」
山田和彦特任講師



「生物活性海洋天然物の化学合成」 田中秀則特任助教